



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月10日

上場会社名 株式会社琉球銀行 上場取引所 東・福
コード番号 8399 URL <https://www.ryugin.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 島袋 健
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 山入端 裕哉 TEL 098-866-1212
特定取引勘定設置の有無 無
配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	51,593	4.0	7,307	10.9	5,072	10.5
2024年3月期第3四半期	49,611	14.0	6,589	3.2	4,591	3.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,104百万円(△78.2%) 2024年3月期第3四半期 5,061百万円(400.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	122	59	122	50
2024年3月期第3四半期	110	26	110	08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	3,049,418	141,605	4.6
2024年3月期	3,067,017	142,564	4.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 141,569百万円 2024年3月期 142,500百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	—	18.50	—	18.50	37.00
2025年3月期	—	19.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円
通期	8,500	0.6	5,700	0.9	136.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	43,108,470株	2024年3月期	43,108,470株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,754,678株	2024年3月期	1,440,541株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	41,374,588株	2024年3月期3Q	41,637,116株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

[添付資料の目次]

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	P. 4
四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 6
(5) 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	P. 6
(6) セグメント情報等の注記	P. 7
(7) キャッシュ・フロー計算書に関する注記	P. 7
2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料	P. 8.
1. 損益の概況【連結】	P. 8
(1) 概況	P. 8
(2) 参考 連結子会社の損益の状況	P. 9
2. 損益の概況【単体】	P. 10
(1) 概況	P. 10
(2) 損益分解情報	P. 11
3. 預金・貸出金等の状況	P. 12
(1) 預金（単体・未残および利回り）の推移	P. 12
(2) 預かり資産（単体・未残）の推移	P. 13
(3) 貸出金（単体・未残および利回り）の推移	P. 14
(4) 時価のある有価証券の評価差額（連結）の推移	P. 15
(5) 金融再生法開示債権の推移	P. 16
(6) 自己資本比率（連結・単体）の推移	P. 17
(7) カード業務利益（単体）の推移	P. 18
(8) りゅうぎんVisaデビットカード会員数および加盟店契約数の推移	P. 18
(9) コンサルティング業務利益（単体）の推移	P. 19
(10) リース業務利益（連結）の推移	P. 19

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

経常収益は、貸出金利息および株式等売却益、リース業における売上高の増加等により前年同期比19億82百万円増加の515億93百万円となりました。

一方、経常費用は、預金利息および営業経費の増加等により前年同期比12億64百万円増加の442億85百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比7億18百万円増加の73億7百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比4億81百万円増加の50億72百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

財政状態について、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比175億99百万円減少の3兆494億18百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比9億59百万円減少の1,416億5百万円となりました。

主要勘定としては、預金等（譲渡性預金を含む）は、個人預金を中心に増加したことから、前連結会計年度末比142億41百万円増加の2兆8,504億89百万円となりました。貸出金は、法人向け貸出が増加したことにより、前連結会計年度末比351億25百万円増加の1兆9,170億71百万円となりました。有価証券は主に国債の取得により前連結会計年度末比660億42百万円増加の7,582億87百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日公表の通期の連結業績予想については、金融市場の動向や、物価上昇が景気に与える影響を見極める必要があることから、2025年3月期通期の業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	341,755	234,173
コールローン及び買入手形	246	226
金銭の信託	522	530
有価証券	692,245	758,287
貸出金	1,881,946	1,917,071
外国為替	4,493	2,504
リース債権及びリース投資資産	26,192	27,954
その他資産	69,448	57,708
有形固定資産	36,110	40,228
無形固定資産	3,307	4,144
退職給付に係る資産	1,705	1,654
繰延税金資産	4,569	5,955
支払承諾見返	12,280	7,084
貸倒引当金	△7,806	△8,104
資産の部合計	3,067,017	3,049,418
負債の部		
預金	2,793,883	2,832,474
譲渡性預金	42,365	18,015
債券貸借取引受入担保金	27,676	-
借入金	19,271	19,664
外国為替	64	121
その他負債	25,123	27,239
賞与引当金	820	233
役員賞与引当金	10	-
退職給付に係る負債	565	601
役員退職慰労引当金	24	31
偶発損失引当金	76	85
ポイント引当金	173	174
利息返還損失引当金	176	146
再評価に係る繰延税金負債	1,940	1,940
支払承諾	12,280	7,084
負債の部合計	2,924,453	2,907,812
純資産の部		
資本金	56,967	56,967
資本剰余金	14,244	14,260
利益剰余金	72,797	76,240
自己株式	△1,417	△1,839
株主資本合計	142,590	145,628
その他有価証券評価差額金	△1,223	△5,189
土地再評価差額金	796	796
退職給付に係る調整累計額	337	334
その他の包括利益累計額合計	△90	△4,058
新株予約権	64	35
純資産の部合計	142,564	141,605
負債及び純資産の部合計	3,067,017	3,049,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	49,611	51,593
資金運用収益	21,912	23,239
(うち貸出金利息)	19,554	20,473
(うち有価証券利息配当金)	2,238	2,480
役務取引等収益	9,121	9,632
その他業務収益	15,173	16,524
その他経常収益	3,403	2,196
経常費用	43,021	44,285
資金調達費用	1,497	1,272
(うち預金利息)	69	996
役務取引等費用	4,480	4,706
その他業務費用	15,036	16,065
営業経費	21,174	21,419
その他経常費用	832	821
経常利益	6,589	7,307
特別利益	1	-
固定資産処分益	1	-
特別損失	26	27
固定資産処分損	26	27
税金等調整前四半期純利益	6,563	7,279
法人税、住民税及び事業税	1,249	1,975
法人税等調整額	723	231
法人税等合計	1,972	2,207
四半期純利益	4,591	5,072
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,591	5,072

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	4,591	5,072
その他の包括利益	470	△3,968
その他有価証券評価差額金	453	△3,965
退職給付に係る調整額	16	△2
四半期包括利益	5,061	1,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,061	1,104

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当ありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当ありません。

(5) 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、当連結会計年度の所得に対する法人税、住民税及び事業税等を、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することといたしました。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(6) セグメント情報等の注記

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業	信用保証 業	IT事業	計				
経常収益										
外部顧客に対する経常収益	32,751	12,480	1,951	314	2,109	49,607	4	49,611	—	49,611
セグメント間の内部経常収益	365	119	865	205	705	2,261	375	2,636	△2,636	—
計	33,117	12,599	2,816	519	2,814	51,868	379	52,248	△2,636	49,611
セグメント利益	5,334	478	377	362	80	6,633	33	6,666	△77	6,589

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、現金精査整理業務や産業、経済、金融に関する調査研究業務等であります。

3 「調整額」は主にセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業	信用保証 業	IT事業	計				
経常収益										
外部顧客に対する経常収益	33,025	13,627	2,322	354	2,261	51,734	1	51,593	—	51,593
セグメント間の内部経常収益	832	109	560	131	334	1,824	127	2,095	△2,095	—
計	33,858	13,736	2,882	485	2,595	53,558	129	53,688	△2,095	51,593
セグメント利益	6,462	389	449	367	116	7,785	12	7,797	△489	7,307

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、現金精査整理業務や産業、経済、金融に関する調査研究業務等であります。

3 「調整額」は主にセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) キャッシュ・フロー計算書に関する注記

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,301百万円	2,412百万円
のれんの償却額	23百万円	23百万円

2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

1. 損益の概況【連結】

(1) 概況

連結の経営成績について、経常利益は経費の増加があったものの、連結粗利益および株式等関係損益の増加により前年同期を7億18百万円上回る73億7百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を4億81百万円上回る50億72百万円となりました。

銀行単体について、実質業務純益は経費の増加があったものの、資金利益および役務取引等利益の増加により前年同期を22億49百万円上回る48億32百万円となりました。

経常利益は、ネット与信費用が増加したものの、実質業務純益の増加に加え、株式等損益(3勘定戻)が増加したため前年同期を11億28百万円上回る64億62百万円となりました。

以上の結果、四半期純利益は前年同期を8億81百万円上回る46億50百万円となりました。

(単位：百万円)

連結	2024年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	2025年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	前年同期比
0 経常収益	49,611	51,593	1,982
1 連結粗利益 ※	25,193	27,351	2,158
2 資金利益	20,415	21,967	1,552
3 役務取引等利益	4,641	4,925	284
4 その他業務利益	136	459	323
5 経費(除く臨時損益)	21,151	21,423	272
6 貸倒償却引当費用	580	661	81
7 貸出金償却	533	125	△408
8 個別貸倒引当金繰入額	-	727	727
9 一般貸倒引当金繰入額	-	△272	△272
10 偶発損失引当金繰入額	46	80	34
11 債権売却損	-	0	0
12 その他の与信費用	-	-	-
13 貸倒引当金戻入益	2,028	-	△2,028
14 償却債権取立益	220	176	△44
15 株式等関係損益	679	1,648	969
16 その他の臨時損益	199	215	16
17 経常利益	6,589	7,307	718
18 特別損益	△25	△27	△2
19 税金等調整前四半期純利益	6,563	7,279	716
20 法人税、住民税及び事業税	1,249	1,975	726
21 法人税等調整額	723	231	△492
22 法人税等合計	1,972	2,207	235
23 四半期純利益	4,591	5,072	481
24 非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-	-
25 親会社株主に帰属する四半期純利益	4,591	5,072	481

※ 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

(2) 参考 連結子会社の損益の状況

連結

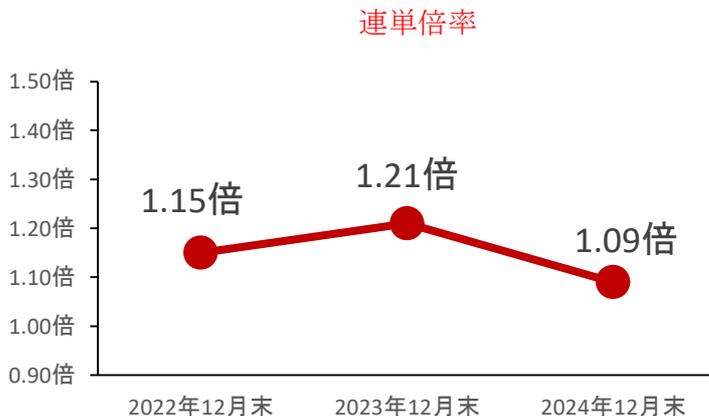
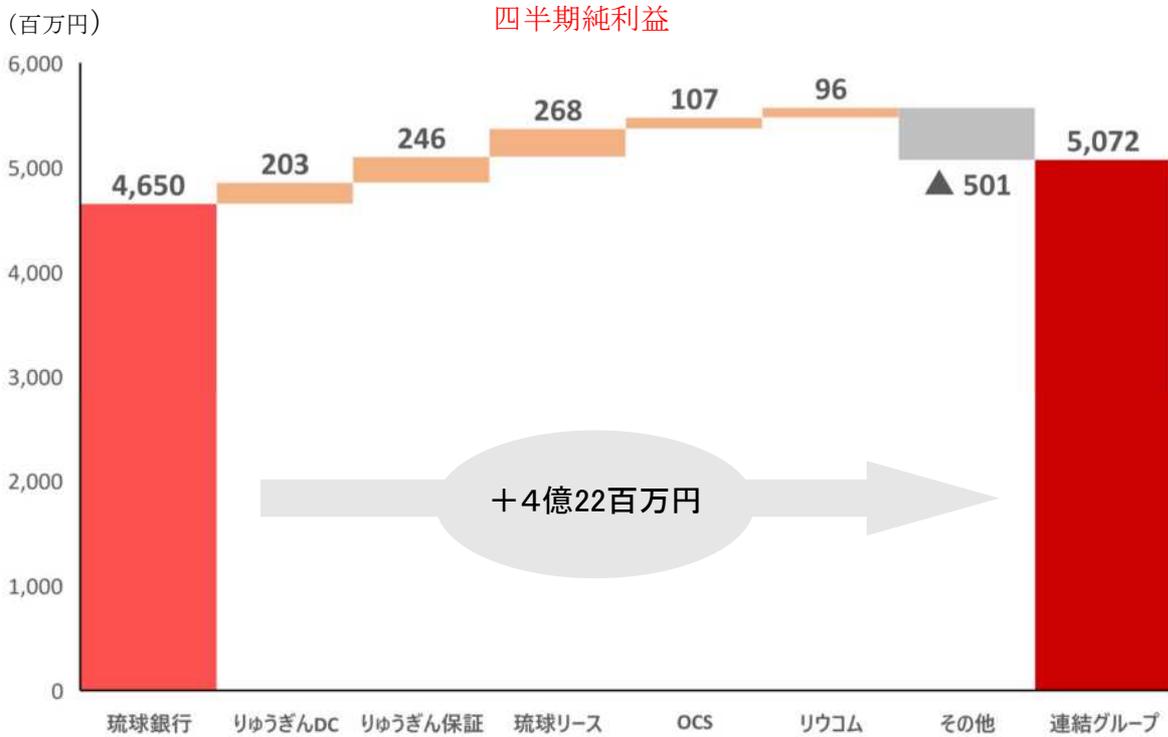
(単位：百万円)

2025年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	連結	琉球銀行	りゅうぎん DC	りゅうぎん 保証	琉球リース	OCS	リウコム	その他※
経常収益	51,593	33,858	1,447	485	13,736	1,463	2,587	△1,986
経常利益	7,307	6,462	299	367	389	149	138	△499
四半期純利益	5,072	4,650	203	246	268	107	96	△501

※1「その他」には内部消去、りゅうぎんビジネスサービス㈱、(株)りゅうぎん総合研究所が含まれております。

また、「その他」にはのれんの償却費や連結上の処理が含まれているため各社の数値はセグメント表とは一致いたしません。

※2 連結子会社のりゅうぎんビジネスサービス㈱は2024年7月29日をもって解散し、10月24日に清算終了しております。



2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

2. 損益の概況【単体】

(1) 概況

(単位：百万円)

単体		2024年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	2025年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	前年同期比	2025年3月期 通期予想 (12ヵ月累計)
0	経常収益	33,117	33,858	741	
1	業務粗利益	21,876	24,236	2,360	
2	資金利益	20,365	22,414	2,049	
3	役務取引等利益	2,909	3,214	305	
4	その他業務利益	△1,398	△1,392	6	
5	外国為替売買損益	△992	△1,009	△17	
6	国債等債券損益（5勘定戻）	△405	△383	22	
7	うち売却益	252	232	△20	
8	うち売却損	658	615	△43	
9	うち償還損	-	-	-	
10	経費（除く臨時処理分）	19,293	19,403	110	
11	人件費	8,219	8,690	471	
12	物件費	9,391	9,337	△54	
13	税金	1,682	1,376	△306	
14	実質業務純益 ※1	2,583	4,832	2,249	7,200
15	コア業務純益 ※2	2,989	5,215	2,226	
16	除く投資信託解約損益	2,904	5,215	2,311	
17	一般貸倒引当金繰入額	-	△236	△236	
18	業務純益	2,583	5,068	2,485	7,500
19	臨時損益	2,751	1,393	△1,358	
20	うち株式等損益（3勘定戻）	679	1,648	969	
21	売却益	712	1,691	979	
22	売却損	28	43	15	
23	償却	4	-	△4	
24	うち不良債権処理額	576	551	△25	
25	うち貸倒引当金戻入益	2,382	-	△2,382	
26	うち一般貸倒引当金	1,608	-	△1,608	
27	うち個別貸倒引当金	774	-	△774	
28	うち償却債権取立益	189	148	△41	
29	うちその他の臨時損益	76	148	72	
30	経常利益	5,334	6,462	1,128	7,500
31	特別損益	△26	△26	-	
32	税引前四半期純利益	5,307	6,435	1,128	
33	法人税、住民税及び事業税	736	1,468	732	
34	法人税等調整額	801	316	△485	
35	法人税等合計	1,538	1,784	246	
36	四半期(当期)純利益	3,769	4,650	881	5,200
37	ネット与信費用（17+24-25-28）	△1,995	166	2,161	
38	顧客向けサービス利益 ※3	2,965	3,192	227	

※1 「実質業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額を除く業務純益。

※2 「コア業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額及び国債等債券損益（5勘定戻）を除く業務純益。

※3 「顧客向けサービス利益」＝預貸金収支＋役務利益－経費（経費のうち人件費は臨時処理分控除前）

2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

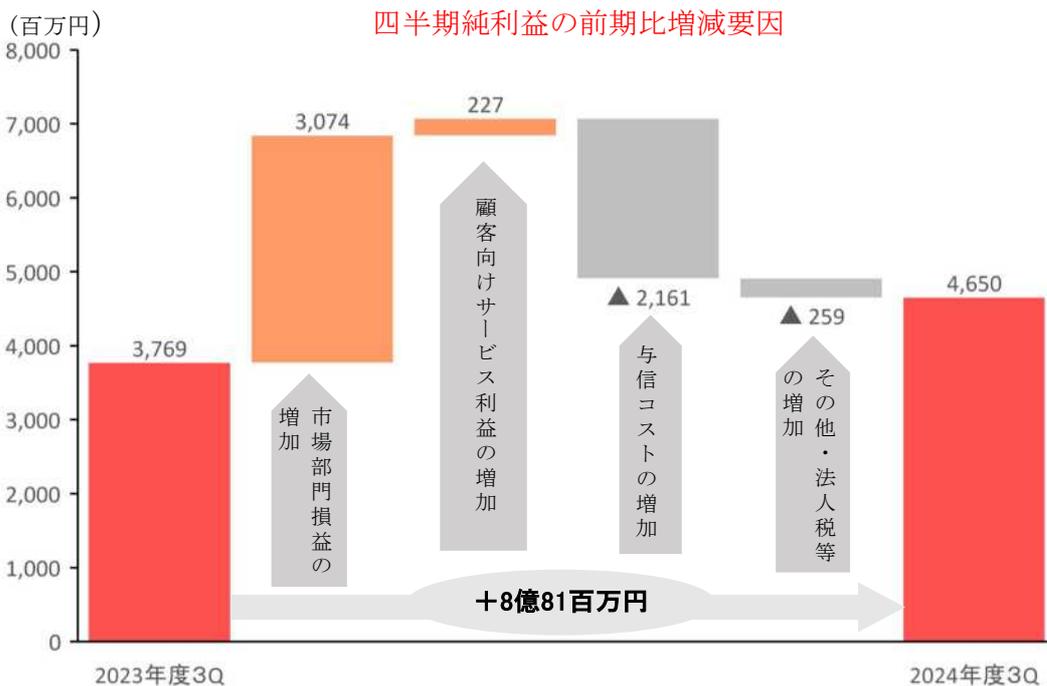
（2）損益分解情報

顧客向けサービス利益は、営業経費は増加したものの、預貸金収支および役務利益の増加により、前年同期を2億27百万円上回りました。
 市場部門損益は、国債残高増加による利息配当金増加等に加え、外債調達コストの減少および株式売却益の増加により前年同期を30億74百万円上回りました。
 与信コストは主に一般貸倒引当金繰入および個別貸倒引当金繰入が増加したことにより、前年同期を21億61百万円上回りました。
 以上の結果、四半期純利益は前年同期を8億81百万円上回る46億50百万円となりました。

（単位：百万円）

単体	2024年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	2025年3月期 第3四半期 9ヵ月累計	前年同期比
1 顧客向けサービス利益 ※1	2,965	3,192	227
2 うち預貸金収支 ※2	16,821	16,883	62
3 うち役務利益 ※3	5,460	5,709	249
4 うち営業経費	△ 19,316	△ 19,400	△ 84
5 市場部門損益	311	3,385	3,074
6 うち利息配当金	2,244	2,945	701
7 うち預け金利息	116	174	58
8 うち外為売買損益	△ 992	△ 1,009	△ 17
9 うち債券5勘定戻	△ 405	△ 383	22
10 うち株式3勘定戻	679	1,648	969
11 うち債券貸借取引支払利息	△ 1,368	△ 181	1,187
12 与信コスト関連 ※4	1,995	△ 166	△ 2,161
13 うち一般貸倒引当金繰入 ※4	1,608	236	△ 1,372
14 その他・法人税等	△ 1,502	△ 1,761	△ 259
15 四半期純利益	3,769	4,650	881

※1 顧客向けサービス利益=預貸金収支+役務利益-経費
 ※2 預貸金収支（貸出金利息から支払ローン関係手数料相当額を控除。預金利息は資金スワップ収益を加味した実質ベース）
 ※3 役務利益（支払ローン関係手数料除く）
 ※4 与信コストについては、戻入は正の表示、繰入は負の表示



2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

3. 預金・貸出金等の状況

(1) 預金（単体・末残および利回り）の推移

預金（末残）は、個人預金および法人預金の残高が好調に推移し、前年同期末を678億円、前年度末を110億円上回る2兆8,615億円となりました。
 預金利回りは、預金金利の引上げにより、2024年度上期比0.052ポイント上昇の0.081%となりました。

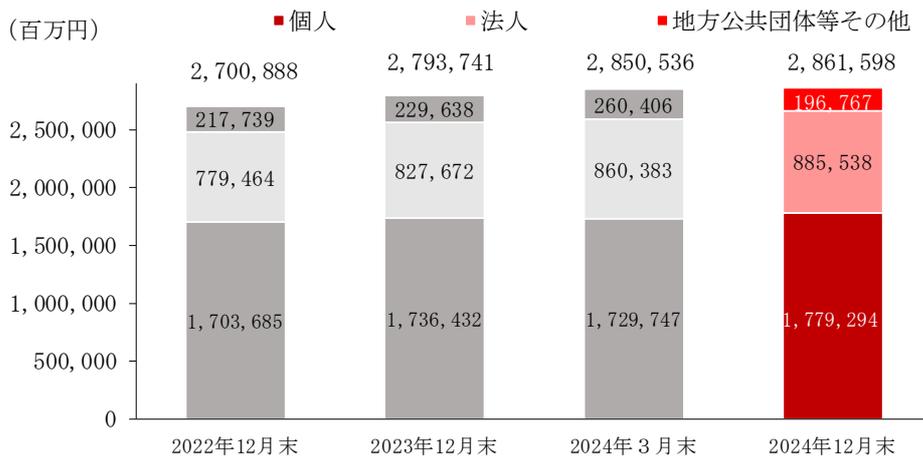
単体

（単位：百万円）

	2022年12月末	2023年12月末	2024年3月末	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比
預金（期末残高）※	2,700,888	2,793,741	2,850,536	2,861,598	67,857	11,062
個人	1,703,685	1,736,432	1,729,747	1,779,294	42,862	49,547
法人	779,464	827,672	860,383	885,538	57,866	25,155
地方公共団体等その他	217,739	229,638	260,406	196,767	△ 32,871	△ 63,639
預金（平均残高）※	2,689,776	2,783,381	2,778,869	2,834,870	51,489	56,001

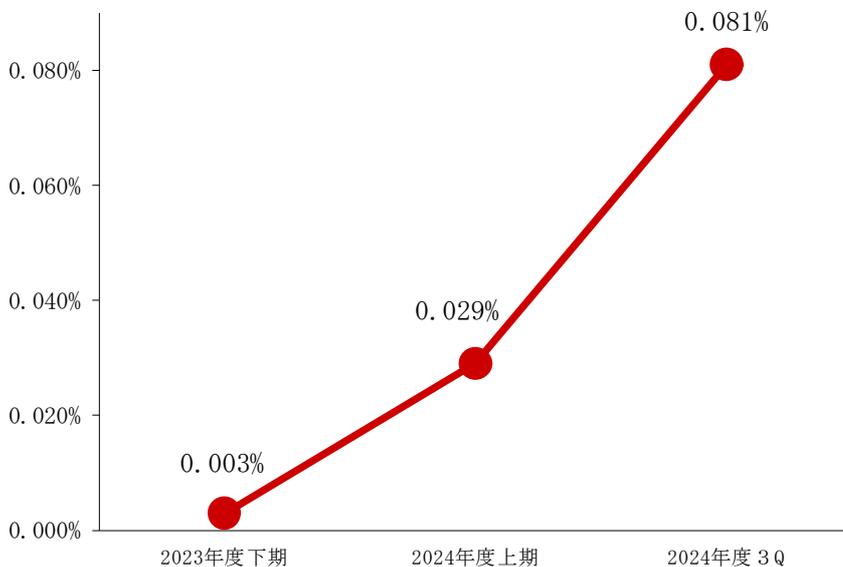
※譲渡性預金を含む

預金残高（末残）



※譲渡性預金含む。

預金利回り



2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

(2) 預かり資産（単体・末残）の推移

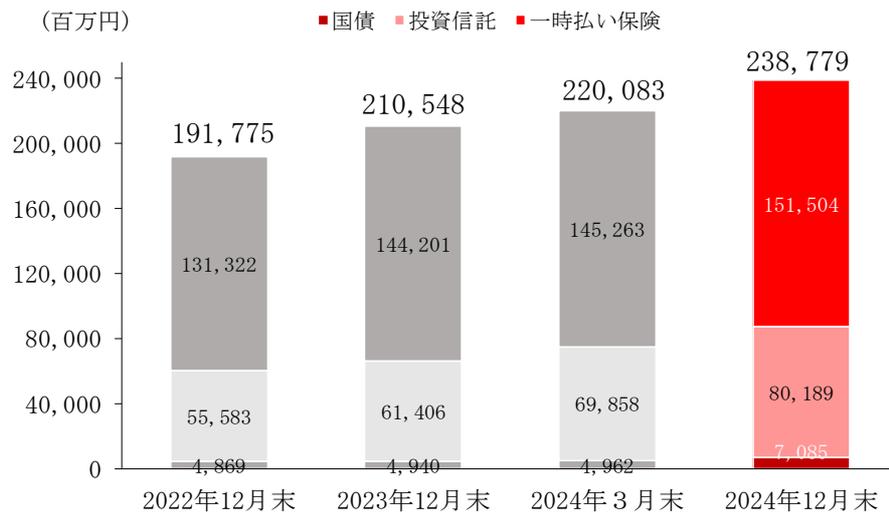
預かり資産は、円建保険の販売が高水準で推移したことおよび、投資信託の評価額上昇による残高増加により、前年度末を186億円上回る2,387億円となりました。

単体

(単位：百万円)

	2022年12月末	2023年12月末	2024年3月末	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比
預かり資産	191,775	210,548	220,083	238,779	28,231	18,696
国債	4,869	4,940	4,962	7,085	2,145	2,123
投資信託	55,583	61,406	69,858	80,189	18,783	10,331
一時払い保険	131,322	144,201	145,263	151,504	7,303	6,241

預かり資産残高（末残）



2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

(3) 貸出金（単体・末残および利回り）の推移

貸出金（末残）は、個人向け貸出が住宅ローンを中心に増加したことおよび、法人向け貸出が県外シンジケートローンの取組強化や県内事業資金の需要回復等により増加したことから、前年同期末を800億円、前年度末を367億円上回る1兆9,398億円となりました。

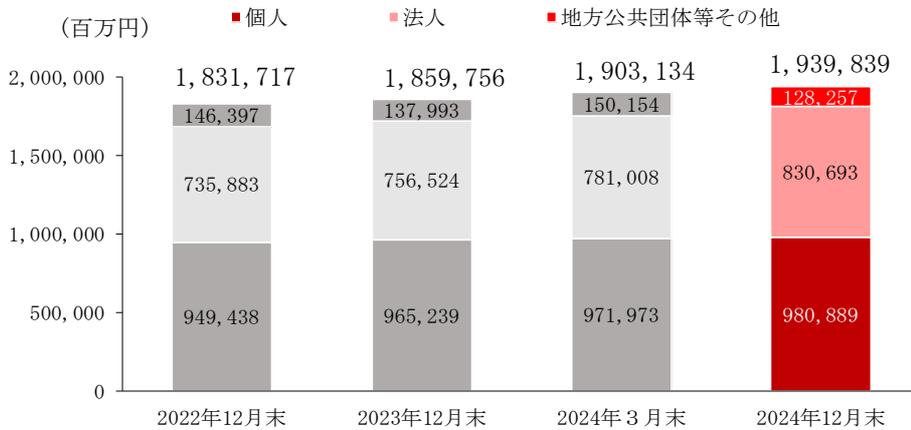
貸出金利回りは、2024年10月から短期プライムレートを0.15%引上げした影響等もあり、2024年度上期比0.04ポイント上昇の1.44%となりました。

単体

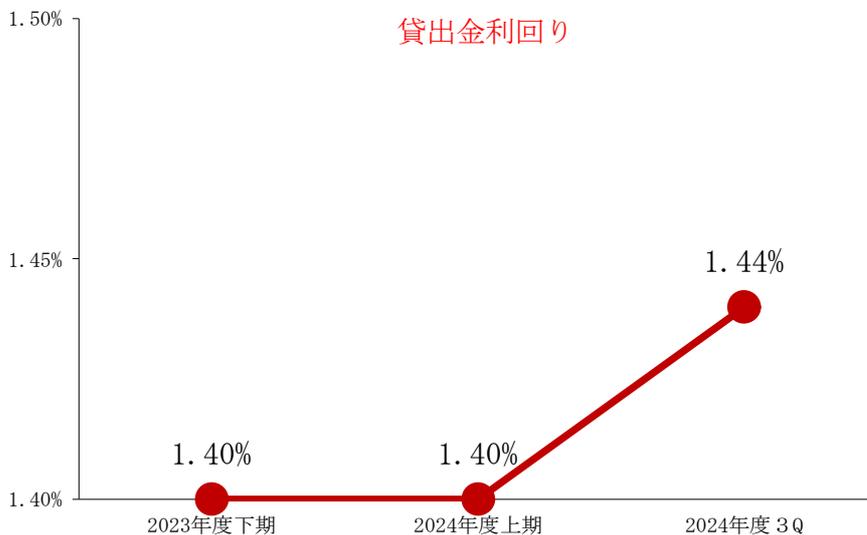
（単位：百万円）

	2022年12月末	2023年12月末	2024年3月末	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比
貸出金（期末残高）	1,831,717	1,859,756	1,903,134	1,939,839	80,083	36,705
個人	949,438	965,239	971,973	980,889	15,650	8,916
法人	735,883	756,524	781,008	830,693	74,169	49,685
地方公共団体等その他	146,397	137,993	150,154	128,257	△ 9,736	△ 21,897
貸出金（平均残高）	1,814,580	1,830,026	1,839,478	1,904,176	74,150	64,698
期末個人残高のうち住宅ローン	551,569	568,070	572,542	585,222	17,152	12,680

貸出金残高（末残）



貸出金利回り



2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

(4) 時価のある有価証券の評価差額（連結）の推移

株式は、売却に伴い評価益が減少しました。円貨債券は、国内金利の上昇局面で残高を積み上げたことに伴い評価損が増加しました。その他の項目のうち、外貨債券は海外金利の低下局面で売却を進めたことで評価損は減少したものの、投資信託の評価損が増加しました。その結果、有価証券評価差額全体では評価損が前年度末比約56億円増加しました。
国内外の債券デュレーションは3年程度で、金利上昇局面でも決算への影響は限定的です。国内外の債券や株式などの資産を戦略的に配分することでポートフォリオの収益性向上を目指します。

連結

①満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	2023年12月末	2024年3月末	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比
帳簿価額	73,807	76,465	84,248	10,441	7,783
含み損益	△ 20	△ 150	△ 606	△ 586	△ 456

②その他有価証券

(単位：百万円)

	2023年12月末	2024年3月末	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比
帳簿価額計	599,542	611,939	670,100	70,558	58,161
株式	2,060	2,401	1,324	△ 736	△ 1,077
円貨債券※	494,361	507,618	573,510	79,149	65,892
その他	103,120	101,919	95,265	△ 7,855	△ 6,654

	2023年12月末	2024年3月末	2024年12月末	2023年12月末比	2024年3月末比
評価損益計	△ 1,123	△ 1,904	△ 7,493	△ 6,370	△ 5,589
株式	1,025	1,366	551	△ 474	△ 815
円貨債券※	△ 902	△ 2,425	△ 6,903	△ 6,001	△ 4,478
その他	△ 1,245	△ 846	△ 1,141	104	△ 295

「評価差額」及び「含み損益」は、基準日時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
※円貨債券は、国債、地方債、社債を計上しております。

連結

時価のある有価証券の評価差額



2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

(5) 金融再生法開示債権の推移

金融再生法開示債権(単体)は、一部の事業者において、業況の悪化が見られ破産更生債権及びこれらに準ずる債権と危険債権が増加した結果、開示債権比率は、前年度末比0.12ポイント上昇の2.47%となりました。当行は、事業者の事業継続可能性を見極めながら今後も地域金融機関に求められる役割をはたすべく、引き続きお客様支援を実施してまいります。

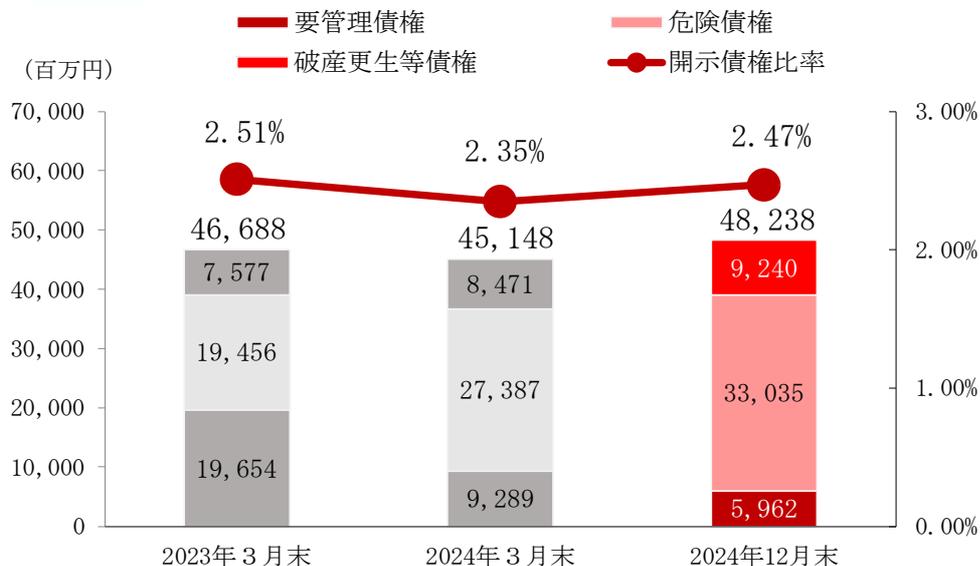
単体

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	2023年3月末	2024年3月末	2024年12月末	2024年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,577	8,471	9,240	769
危険債権	19,456	27,387	33,035	5,648
要管理債権	19,654	9,289	5,962	△ 3,327
合計	46,688	45,148	48,238	3,090
	(単位：%)			(単位：%)
開示債権比率	2.51	2.35	2.47	0.12

連結

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	2023年3月末	2024年3月末	2024年12月末	2024年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,774	10,831	11,966	1,135
危険債権	19,481	27,414	33,068	5,654
要管理債権	20,031	9,742	6,393	△ 3,349
合計	49,287	47,988	51,428	3,440
	(単位：%)			(単位：%)
開示債権比率	2.65	2.50	2.64	0.14

単体



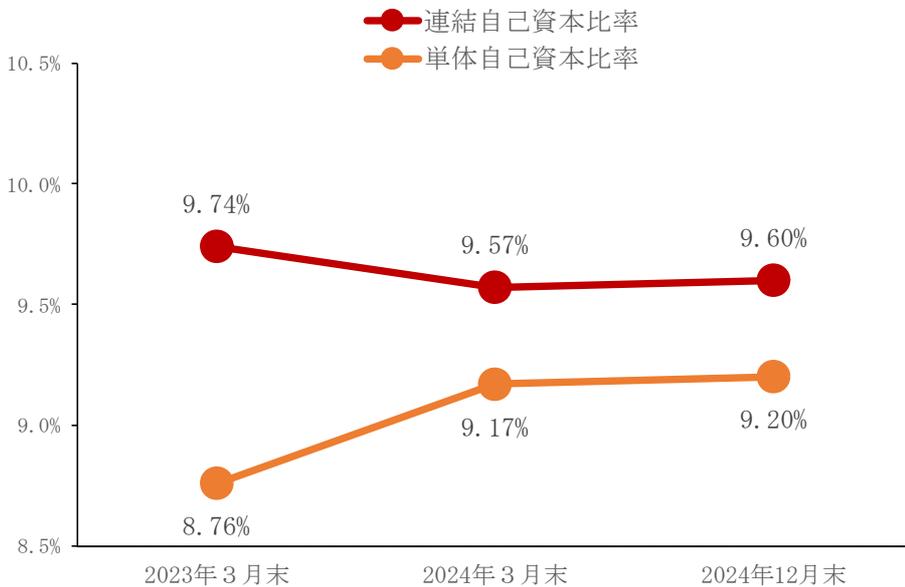
2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

(6) 自己資本比率（連結・単体）の推移

利益の積み上げ等により、連結自己資本比率は2024年3月末比0.03ポイント上昇の9.60%となり、単体自己資本比率は2024年3月末比0.03ポイント上昇の9.20%となりました。
 2025年3月末の自己資本比率は、バーゼルⅢ最終化等の影響を勘案し連結は9.6%台、単体は9.1%台をそれぞれ予想しています。

単体・連結

自己資本比率	2023年3月末	2024年3月末	(単位：%)		(単位：ポイント)	
			2024年12月末	2024年3月末比	2024年3月末比	
単体	8.76	9.17	9.20	0.03	0.03	
連結	9.74	9.57	9.60	0.03	0.03	



2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

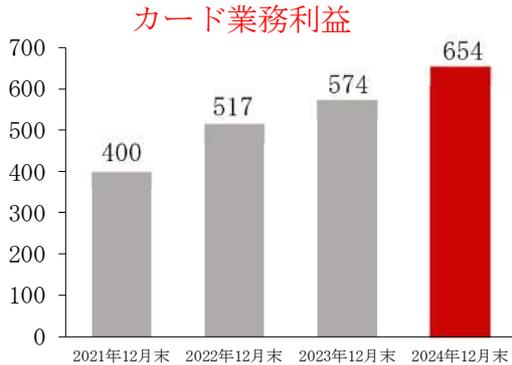
（7）カード業務利益の推移

単体

	2023年12月末	2024年12月末	2023年12月末比
カード業務利益	574	654	80
カード業務収益	1,766	2,074	308
カード業務費用（△）	1,192	1,420	228

※銀行本体で行っているりゅうぎんVisaデビットカード発行業務およびカード加盟店業務における役務利益。

（百万円）



（8）りゅうぎんVisaデビットカード会員数および加盟店契約数の推移

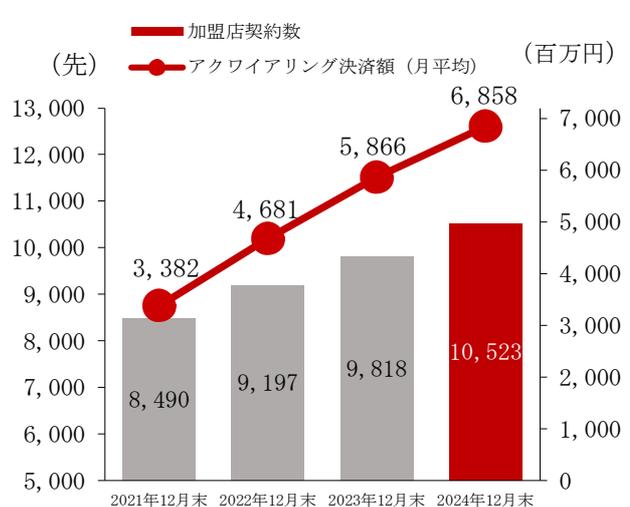
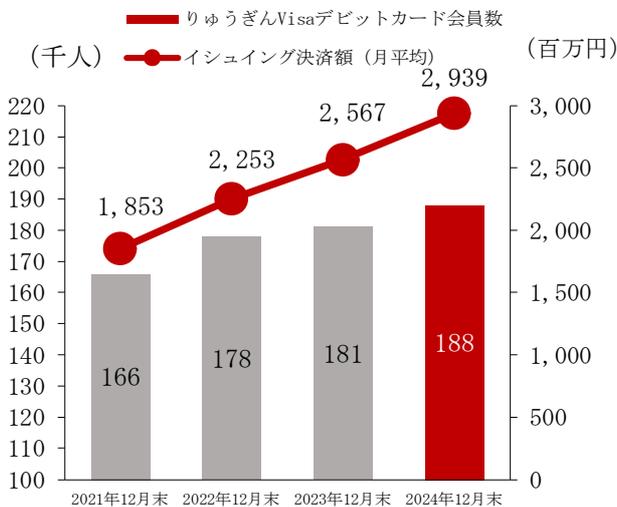
単体

	2023年12月末	2024年12月末	2023年12月末比
りゅうぎんVisaデビットカード会員数	181	188	7
決済額（イシューング）※	2,567	2,939	372
加盟店契約数	9,818	10,523	705
決済額（アクワイアリング）※	5,866	6,858	992

※決済額：1ヵ月間の合計決済額の平均（12月期は4月～12月の9ヵ月平均）

りゅうぎんVisaデビットカード会員数および決済額

カード加盟店契約数および決済額



2025年3月期 第3四半期 決算概況説明資料

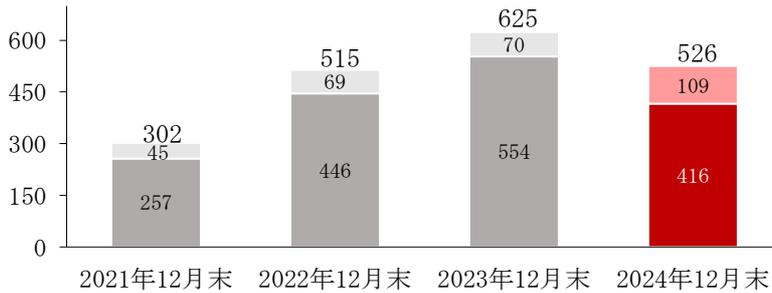
(9) コンサルティング業務利益（単体）の推移

単体

(単位：百万円)

	2023年12月末	2024年12月末	2023年12月末比
コンサルティング業務利益	625	526	△99
法人向けサービス	554	416	△138
個人向け資産承継サポート	70	109	39

(百万円) ■個人向け資産承継サポート ■法人向けサービス



(10) リース業務利益（連結）の推移

連結

(単位：百万円)

	2023年12月末	2024年12月末	2023年12月末比
リース業務利益	1,103	1,201	98

(百万円)

